

# 冬期間の停電に備えた農作物の管理と対策

令和4(2022)年12月1日  
栃木県農政部経営技術課

国内外のエネルギーを巡る情勢変化により電力需給のひっ迫が懸念されています。不測の事態に備えた対策に努めてください。

## I 共通対策

- 1 テレビ、ラジオ、インターネット等で電力の需給動向を注視し、対応が遅れないようにする。
- 2 停電で使用できない機器を事前に確認しておく。
- 3 停電時の対応を検討しておく。
- 4 発電機を準備し、施設及び作業に必要な最低限の電力を確保する(ガソリン発電機、トラクター動力発電機等)。モーターを使う電気機器などは、動き始めに大きな電力が必要なため、発電機は消費電力の3倍の出力が必要となる。
- 5 定期的に試運転を行うとともに、燃料を確保しておく。
- 6 発電機は取扱説明書をよく読んで使用する。酸欠にならないように設置場所に注意する。
- 7 制御装置の設定が初期化される場合があるので、発電機を稼働後に確認する。

## II 園芸作物

### 1 施設栽培共通

- (1) 養液栽培では、タンク等に貯水し、発電機や動力ポンプにより給水できるよう準備しておく。
- (2) 冬期は、温度低下を防止するため、出入り口等の開閉をできるだけ少なくする。
- (3) 夕方はハウスサイドを早めに閉める等、ハウス内温度の確保に努める。
- (4) 停電復旧後は、各種装置の稼働状況を確認する。
- (5) 暖房機が停止した場合、施設内が多湿になり病害が発生しやすくなるため、殺菌剤を予防散布する。

### 2 果樹

- (1) 生育期間中の停電に対し、施設栽培ではサイドビニル等を手動で開閉するなど、温度管理を徹底する(特に3月頃)。
- (2) 根圏制御栽培では、タンク等にかん水用の水を貯水しておき、休眠明けの生育状況に応じて手動でかん水を行う。

### 3 花き

鉢物は底面マット給水等により、水切れさせないようにする。

### Ⅲ 畜産

#### 1 畜産共通

- (1) 計画停電等のおそれがあるときは、貯水タンク等で家畜の飲水を確保しておく。
- (2) バーンクリーナー、スクレーパーなどの稼働は停電前に行っておく。

#### 2 酪農

- (1) 計画停電等の実施までに、搾乳した生乳が規定どおり冷却できそうにないときは、停電回復後に搾乳作業を遅らせる。
- (2) 搾乳作業を遅らせるときは、牛に搾乳刺激を与えないよう牛舎等への出入りを最小限にとどめる。

#### 3 肉牛

自動給餌機等を使用している場合、稼働時間を調整して停電に対応する。

#### 4 養豚・養鶏

- (1) ウインドレス畜舎では扉を開放し、換気を行う。畜舎内の温度が34℃を下回らない場合は、畜舎の側壁等に穴を開け、換気量を増やす。
- (2) ウインドレス畜舎では自家発電装置が自動的に切り替わるようセットされていても、試運転を行い停電に備える。
- (3) 換気のため扉等を開放するときには、ネット等を設置し、野生動物の侵入に注意する。
- (4) 自動給餌機の稼働時間を調整して停電に対応する。